

平成27年度第1学期

科学技術政策特論

第5回講義

エビデンスに基づく科学技術・ イノベーション政策に向けて

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 企画課長
松原 太郎 氏

松原先生からのメッセージ

世界における日本の科学技術の存在感が、低下しているのではないかと言われています。また、日本では、若手研究者の活躍の機会が十分ではないとの意見もあります。実際のところ、このような情報はどこまで正しいのでしょうか？

日本の科学技術イノベーションの現状や若手研究者のキャリアなどについて、科学技術・学術政策研究所を通じて得られたエビデンスを中心に紹介し、皆さんと一緒に、今後のあるべき政策の方向性や解決策を考えていきましょう。

日時：

2015年 **5月1日**

金曜日

5 講目 16：30-18：00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

松原 太郎 先生

東京大学大学院修士課程修了後、2002年に、文部科学省に入省。高等教育政策、宇宙政策、核不拡散、政策評価、また、経済産業省で原子力政策に携わるとともに、ハーバード大学公共政策大学院に留学。現在は科学技術・学術政策研究所で科学技術政策研究の企画・取りまとめに携わっています。

担当：工学系教育研究センター 教授 渡邊康正
内線：6908

Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp